

町田市議会議員 **良識ある保守主義**

吉田つとむ

交通文化都市◆取材・記事作成・総合編集

町田市議会
〒194-8520
東京都町田市
森野 2-2-2 2
☎042-724-2171
「保守の会」派室
自宅 042-795-7361



7 期目の議会活動

農業委員会視察と講演

年に一度となる、町田市農業委員会（吉川庄衛会長）の研修がありました。現地視察、講演、そして懇親も兼ねた意見交換会という構成でした。

研修は、全部で 4 か所の畑を見学しました。都市農地貸借円滑化法の施行に伴って、別の営農家が新規に借り上げ地を使って耕作している農地、あるいは市民農園の二つの方法（生産緑地の農家開設型指市民農園、及び、プロの農家指導が伴う体験ファーム）で実施する畑の見学でした。いずれも、借地の当事者、市民農園は所有者の方が立ちあいで説明していただきました。いずれも都市部の農地を確保しようとする国の施策の反映です。訪問した借地耕作地の販売先に、生活協同組合があることが特に印象的でした。

講演は、東京農業会議の青山侑会長（元東京都副知事）でしたが、話が多岐にわたり、流ちょうに話され、自分には難しすぎました。別途、講師が記述された資料をいただいたので、それを読ませていただき、復習としています。印象的だったのは、欧州の農業政策において各種レベルの補助金が提供され、日本の強豪相手になるという説明でした。



リニア新幹線工事と町田

町田市は東京都であり、リニア中央新幹線の駅は起点となる品川駅を除いてできる予定はありません。次の駅（相模原市橋本）までは地下を通過する設定であり、すでにその建設工事が行われています。具体的には、町田市内において、開通後は空気坑となる工事用のための立て坑の建設が行われています。場所は、町田市西部の一角で、小山が丘の住宅からは若干離れた場所になります。この日はインターン生を伴って、町田シルクメロン栽培地の見学に訪れた際、その隣接地の広大なスペースでその工事が進められていたものです。



この場所は、当事者の JR 東海が町田市から用地を有償（議会で承認した）で取得し、工事を着工しているのですが、土砂の搬出用にダンプトラックの姿も見えています。もう一か所は鶴川地区にあることを良く承知していましたが、その場所では工事が進められている様子が見当たらず、工事車両の出入りは一切確認できませんでした。いずれ、機会を見て、この 2 か所の工事建設状況の視察をお願いしていきたいと思っております。

★ 政党無所属・市議会は「保守の会」

yoshidaben@gmail.com

URL <http://j-expert.jp/> 動画 <http://jp.youtube.com/yoshidaben>



メール送信

編集者 〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12 サンホワイト E103-13 吉田つとむ（自宅）

町田市議会議員 **3期連続トップ当選**

吉田つとむ

自立した経済圏◆取材・記事作成・総合編集



左上はブログ
右上は新規の
ビジュアルサイト



インタビュー好評

急発進防止装置と自動ブレーキ装置の相違に関して講習

町田交通安全協会の敷地内で講習を受ける

急発進防止装置とは、（高齢者などの）運転者がアクセルとブレーキを踏み間違えた場合に、車を急発進させない装置のことです。秋の交通安全運動期間中に、トヨタの「踏み間違い加速抑制システム」を装着した車両に同乗してみました。車が急発進するのを防止する機能（感知と制御）があり、その機能を体験しました。なお、この装置（設置込みで約 10 万円）を東京都民が購入する場合、費用の 9 割を都が負担して、その普及を図る施策を導入しています。*その装置は既存の車両に取り付けたものですが、一般の走行中にブレーキをかけると車両停止させる機能はついていません。

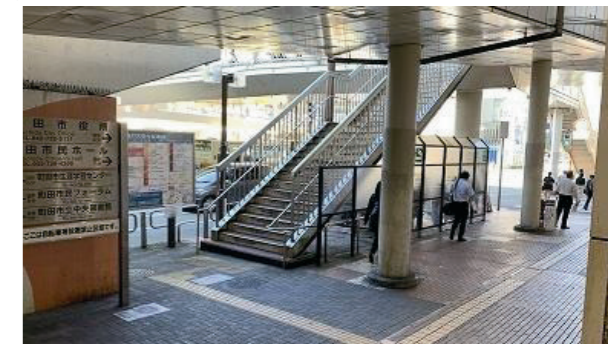
他方の、衝突被害軽減ブレーキは、自動車が走行中に障害物を感知した場合に自動でブレーキがかかる装置をメーカーが製造過程で車両に搭載したものです。運転者がブレーキを踏む前に、自動でブレーキがかかるように設定した装置を施されたもので、どの距離で車がストップできるか、障害物の大きさはどれほどで感知できるか、雨や雪などの天候でも大きく条件が変わるということでした。各メーカーが取り組んでいます。



受動喫煙防止策の設定と町田市の怠慢

町田市議会定例会最終日に、委員長報告付帯意見で気になったことがありました。それは、建設常任委員会の決算審査報告に関して、改めて資料を確認すると、以下の記載がありました。

（7）受動喫煙防止 小田急町田駅西口前バスセンターペDESTリアンデッキ下喫煙所 閉鎖型 を求める 全会一致



以前に、私の一般質問において、通行者の受動喫煙防止のために、この場所の喫煙所の改善、あるいは廃止を求めましたが、行政担当者の答弁では、改修が図られて以降、市民からのクレームは無いという返答で済まされました！ 常任委員会の決算審査でこの課題が取り上げられ、それが行政に改善を求める（閉鎖型）要求として全会一致で出たことで、これが世間の常識であり、市民の声だと再認識した次第です。なお、建設常任委員会は、保守の会所属である「おぜき重太郎議員」が 1 名のみであり、かつ、委員長職です。よって、当方の会派から出たものではなく、他の会派議員から提案され、全委員がそれを認めた次第となっています。思うに、行政担当部の市民意見を聞く対応が怠慢になっているということなのでしょう。

★ 吉田つとむの連絡先 TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

◇ この印刷物は、政務活動費を一切使用していません。自前の費用で発行するものです。

Mail:yoshidaben@gmail.com ご質問やご相談をお寄せください。

町田市議会議員 **3期連続トップ当選**

吉田つとむ

若者育成の街◆取材・記事作成・総合編集



左上はブログ
右上は新規の
ビジュアルサイト



インターン生募集中!

研修レポート⑦-3 長井健太

横浜市会の山下正人議員を訪ね、自民党派室で横浜市役所の方のお話を伺いました。引き続き、市交通局の赤松課長ほか3名から主に地下鉄関連のお話を伺いました。



1972年に最初の区間が開通した横浜市営地下鉄は、現在ではブルーラインとグリーンラインの2路線があり、ブルーラインでは路線延伸に向けた工事がまもなく始まろうとしています。トンネルの断面を小さくすることで建設コストを下げられることから、ブルーラインでは線路横の別のレールから電気を取る第三軌条方式が採用されています。またグリーンラインでは丘陵地の高低差が激しい線形に対応するため、リニアモーターを推進力としてレールの上を走る鉄輪式リニア方式の小型車両が使用されています。このため、近年首都圏で拡大が進む相互乗り入れには参加できなくなっているほか、利用者の増加が続くグリーンライン自体でも混雑が激しくなっています。

一方で、初期に開業した区間では後の耐震基準見直しによって高架橋の橋脚やトンネ

ルの中柱（上り下りの線路間に立てられた柱）の補強が必要になっていることから、終電から始発までのわずかな時間を利用して工事が行われています。また横浜だけでなく沿岸部の都市の地下鉄特有の事象として、埋立地の地下を走る区間で地下水に含まれる塩分が鉄筋コンクリートの老朽化を加速させる要因となっていることから、塩分を吸着させる成分を配合した特殊なコンクリートを使用し、維持管理コストを下げる工夫がなされているとのことです。

(以下、吉田コメント)

横浜市会の玄関。黒のスーツが山下議員、両端の学生は同議員のインターン生です。

複数の部局の方にお世話になって、聞き取りを進めたものです。また、地下鉄のブルーライン・グリーンラインの双方と、「シーサイドライン」共に、訪問の前後に体験乗車をして撮影したものです。

本来、「シーサイドライン」は無人運転ですが、先日の事故以来、有人運転がなされていることで、運転席の撮影を後方から行いました。無人運転では、操作部にカバーが覆われ、左側部分も客が乗車可能となっているとのことです。



首都大東京3年生 長井健太(第43期生)

★ 吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、町田市役所のインターンシップ受け入れや、中学生の職場体験に先行実施

★ 大学生・院生を対象に、議員活動に同行することを通じて社会勉強を支援しています。
インターン希望の方、関心がある方は、ホームページの掲載要旨をご覧の上、ご連絡ください。

町田市議会議員 **良識ある保守主義**

吉田つとむ

情報公開は政治と議会活動の基本

町田市議会
〒194-8520
東京都町田市
森野2-2-22
☎042-724-2171
保守連合会派室
自宅 0427957361



市議会の傍聴・見学

研修レポート⑩-1A 中里叶夢

町田市の名産品の中にまちだシルクメロンというものがあります。まちだシルクメロンはメロン栽培の常識を大きく覆すものです。その栽培は土を使わない栽培方法である水耕栽培であることに加え、栽培に用いる栽培槽が独自に開発された町田式栽培槽であるという点があります。これは従来の水流が直線的で、よどみが生じやすいものであったのに対し、栽培槽を均等に水流が行き渡るよう放射状の水流が生じるように改良されたものです。



この町田式栽培槽で育てることのメリットは栄養が行き渡りやすいことによる成長の速さに加えて露地栽培では1株に多くても4果しかつけない果実を最大で60果ほどつけることができる点です。(続く)



玉川大学2年生 中里 叶夢(第44期生)

研修レポート⑧-2 石井七海

吉田議員のインターンシップ生の先輩にお会いしてきました。先輩は社会人2年目で、証券会社に勤めている方でした。今までの研修でもインターンシップ生の先輩にお会いしたことがあり、この先輩で3人目でした。皆さんそれぞれご職業が違い、いろいろなお話を伺うことができるいい体験になりました。私は将来何の職業になるかまだ不明確なので、このように先輩に直接お会いしてお話するという経験が、自分の将来の役に立つと思います。お話ししていく中で、大学での学びが直接仕事に繋がるとは限らない、ということも実感し、人生でどのようなご縁や出会いがあるかわからないものなんだなあとも思いました。今回会社を訪問したことで、上司の方ともお話ししたり、施設を見たりしたことで、職場の雰囲気がわかり、自分が実際に働く現場を想像することができ、とても良かったです。また、実際の株式の取引を見学しましたが、先輩に株の買い方や仕事の内容を教えてくださいました。お忙しい中お時間を取っていただき、ありがとうございました。



昭和女子大学2年生 石井七海(第44期生)

★ マルチメディア双方向発信 吉田つとむ発見動画チャンネル

URL <http://j-expert.jp/> ユーチューブ <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集者 〒194-0011 町田市成瀬が丘1-14-12 サンホワイトE103-13 吉田つとむ (自宅)